

三大学教養教育共同化フォーラム

『教養の時代』が やってきた

日時

平成26年 **1/25** **土** 13:30▶16:30

場所

キャンパスプラザ京都 4階 第2講義室

京都市下京区西洞院通塩小路下る

*京都市営地下鉄烏丸線「京都駅」、JR「京都駅」、近鉄「京都駅」下車。徒歩5分。

受付

1月8日(水)から1月16日(木)【必着】先着240名まで
(上記の期間外に到着した分は受付できませんので、ご了承ください。)

参加ご希望の方は、往復はがき、あるいはメールにお名前、お電話番号を明記の上、申込先へお送りください。(1通につき2名様まで) 往復はがきの返信用には、参加される方の宛先(ご住所)をお書きください。

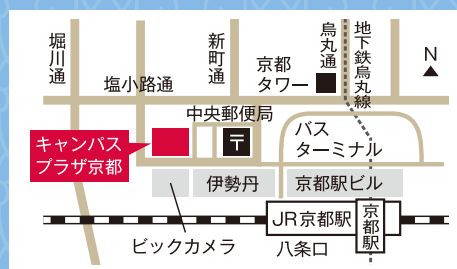
申込方法

〈申込先〉 京都三大学教養教育研究・推進機構

〒603-8054 京都市北区上賀茂桜井町65 グラスヒル北山201号室

E-mail : kyouyou@kpu.ac.jp 問い合わせ ☎075-706-5136

京都三大学(京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学)が取り組む教養教育の共同化は、平成26(2014)年4月より開講となります。フォーラムでは、「教養教育って何?」から始まり、今求められる教養教育について、東京工業大学リベラルアーツセンターの桑子敏雄教授と池上彰教授に京都三大学教養教育研究・推進機構の築山運営委員長(京都府立大学副学長)を交えて語り合います。



内容

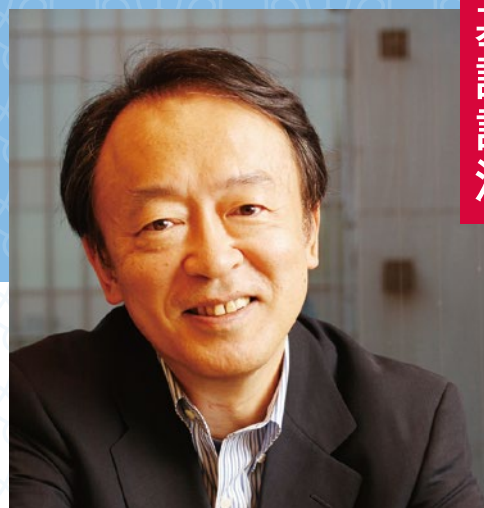
・基調講演 池上 彰 東京工業大学リベラルアーツセンター教授

・パネルディスカッション

桑子敏雄 東京工業大学リベラルアーツセンター長

池上 彰 東京工業大学リベラルアーツセンター教授

築山 崇 京都三大学教養教育研究・推進機構運営委員長

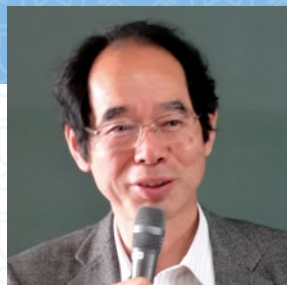


基調講演

東京工業大学 リベラルアーツセンター教授

池上 彰氏

1950年長野県生まれ。1973年、慶応義塾大学経済学部卒業後、NHK入局。社会部記者として多くの報道現場を経験後、キャスターとして活躍。2005年よりフリーランス・ジャーナリストとして独立。2012年、東京工業大学リベラルアーツセンター教授に就任。著書:『そうだったのか!現代史』(2000年、集英社)、『伝える力』(2007年、PHP 研究所)『池上彰と考える、仏教って何ですか?』(2012年、飛鳥新社)他多数。



東京工業大学 リベラルアーツセンター長

桑子 敏雄氏

1951年群馬県生まれ。1975年、東京大学文学部哲学科卒業、同大学院人文科学研究科哲学専修課程、博士課程修了。1996年、東京工業大学大学院社会理工学研究科教授。2012年、同リベラルアーツセンター長に就任。西洋と東洋の哲学および倫理学研究から、現代社会における環境や技術、社会的合意形成などに関する問題に取り組んでいる。著書:『風景の中の環境哲学』(2005年、東京大学出版会)、『生命と風景の哲学』(2013年、岩波書店)他多数。



京都三大学教養教育研究・推進機構運営委員長

築山 崇氏

1953年兵庫県生まれ。1984年、京都大学大学院教育学研究科博士後期課程中退。2008年、京都府立大学公共政策学部教授、地域連携センター長、京都府立大学法人理事。2012年、副学長・教務部長、京都三大学教養教育研究・推進機構運営委員長に就任。地域づくりと生涯学習の関係に関する実証的研究、現代社会における教育の公共性に関する理論的研究等に取り組んでいる。著書:『ふつうのむらがか動くとき 地域再生への道を探る』(2009年、クリエイツかもがわ、共編著)他。

主催：京都三大学教養教育研究・推進機構（京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学）
後援：京都府・京都府教育委員会・公益財団法人大学コンソーシアム京都

時代が求める新たな教養教育の構築

京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学の京都三大学は、各大学の特徴・強みを活かしたカリキュラムを提供し、学生の多様な関心に応え、総合的に物事を観察し、的確に判断できる能力と豊かな人間性の涵養を図っていくため、平成26年度から全国初となる教養教育の共同化による授業を開始します。

本取組を推進する「京都三大学教養教育研究・推進機構」には、共同化教養教育の内容・方法の研究・開発にあたる「リベラルアーツセンター」と、教育の質保証にかかわる事業を担う「教育IRセンター」が設置されています。

三大学教養教育共同化施設（仮称）

『北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告』より



北山文化環境ゾーンにおける 三大学教養教育共同化施設（仮称）の建設

京都府が平成21年に策定した「北山文化環境ゾーン構想」の中で、京都府立大学は、植物園、総合資料館、コンサートホールとともに、文化・芸術・環境地区を構成する要素として位置付けられています。現在、本事業のために、鉄筋コンクリート3階建ての教養教育共同化施設（仮称）の建設が始まっています。また、稲盛和夫氏（京セラ株式会社名誉会長）から、この施設の建設費として20億円の寄附をいただき、施設名称は「稲盛記念会館」と命名されました。この施設を中心に、共同化科目の授業が展開され、文部科学省補助事業の平成28年度終了時には、取組成果を「教養教育京都モデル」として全国に発信していきます。



1階には最大100~200名収容の講義室が計6室、食堂など充実の設備が予定されています。

▲三大学教養教育共同化施設（仮称）完成イメージ図

構造・階数：鉄筋コンクリート3階建て
延べ床面積：9,100㎡

